

京都大学大学院経済学研究科博士後期課程  
編入学生選抜方法の変更について

---

平成 26 年 11 月 14 日

経済学研究科では、平成28年度大学院経済学研究科博士後期課程編入学生選抜試験（平成28年1月実施予定）より、第1次試験（筆記試験）に係る外国語筆記試験を廃止し、TOEFL iBTまたはTOEFL PBTの成績により外国語能力の評価を行います。詳細は下記の通りです。

記

[平成27年度入試まで]

第1次試験（筆記試験）

- ・外国語Ⅰ…… 英語、独語、仏語、中国語、露語及び韓国・朝鮮語のうちから、1カ国語を選択。
- ・外国語Ⅱ…… 上記外国語のうちから、1カ国語を選択。（外国語Ⅰとの重複選択可。ただし、外国語Ⅰと同一の外国語Ⅱを選択した場合その問題は、より難度の高いものとなる。）
- ・外国人留学生は、公用語・教育言語以外で前述の外国語Ⅰから1カ国語を選択。なお、教育言語とは、中高等教育で使用された言語をさす。
- ・ファイナンス工学講座への所属を希望する者（外国人留学生を含む）の第1次試験は、外国語Ⅰ及び経済数学を課す。

[平成 28 年度入試より]

第1次試験

外国語能力を TOEFL iBT または TOEFL PBT の成績を換算して評価する。ただし、ファイナンス工学講座への所属を希望する者（外国人留学生を含む）の第1次試験は、TOEFL iBT または TOEFL PBT の成績による外国語能力の評価及び経済数学(筆記試験)を課す。

第2次試験（口頭試問）については変更ありません。

なお、この内容を反映した「平成28年度京都大学大学院経済学研究科（博士後期課程）編入学生募集要項」は、平成27年10月頃に発表する予定です。

以上